

2012年（平成24年）度 第2回常務理事会記録

日 時 2012年（平成24年）3月25日（日） 12:10～14:30

場 所 山梨大学甲府キャンパス総合研究棟1階 Y-13

出席者 高田邦昭（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、河田光博、渡辺雅彦（以上常務理事）、竹田 扇、仲嶋一範、（以上常任幹事）、天野恵子、中村 聡（以上、口腔保健協会）

I. 会議記録の確認

2012年（平成24年）度第1回常務理事会（平成24年1月28日開催）記録（案）

2012年（平成24年）度第1回理事会（平成24年2月1～7日開催）議事録、記録（案）

II. 報告事項

1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

(1) 会員異動報告

平成24年1月分（入会者 正会員30名、学生43名、退会者 正会員3名、学術評議員 1名、名誉会員 1名）

平成24年2月分（入会者 正会員6名、学生9名、退会者 正会員18名、名誉会員 1名、賛助会員 3名）

逝去会員：なし

(2) 会費納入状況（長期未納者の除名について）

資料に基づいて説明があり、未納者リストを総会時に貼り出すことが報告された。4年未納である3名の評議員には直接督促することとした。

(3) 学会宛文書類について

① 通知・依頼：（独）科学技術振興機構より「J-STAGE NEWS No. 30」他40件の通知・依頼あり。

② 書籍・定期通信等：厚生労働省より「医薬品・医療機器等安全情報 No. 287」他10件あり。

(4) その他

特になし。

2. 編集報告（渡辺編集担当理事）

(1) 解剖学雑誌及びASI刊行報告

資料に基づいて説明があった。学術集会抄録のweb移行に対応して、解剖学雑誌の刊行回数をどうするか検討した。その結果、今後2・3号を合併号としたり、年間の刊行数を4号から3号に変更することにより、従来3号に綴じ込んでいた学術集会通知を別印刷の綴じ込みにすることを決定した。

(2) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

(1) 第117回日本解剖学会総会・全国学術集会の準備状況について

資料に基づいて説明があり、各種委員会の担当常務理事を確認した。

(2) 二級技術士審査結果について

資料に基づいて説明があり、メール審議で1名が合格になった事が報告された。

(3) 日本医学会役員選挙結果について

資料に基づいて説明があった。また、別添資料に基づいて説明があり、医学会の予算明細の説明があった。また、日本医学会に加盟する意義、同会の一般法人化に伴って変更となる分担金額算出法に関して検討の余地があること、分担額に関して説明があり、今後内容を検討した上で日本医学会と交渉することにした。最後に、2015年に京都で開催される総会の準備状況に関する説明があった。

(4) 生物科学学会連合報告

生物科学学会連合の会費値上げが、その活動内容（例えば日本独自の高レベルのジャーナルの刊行など）と共に報告され、対応に関しては今後検討課題としていくこととなった。

(5) その他

特になし。

4. 会計報告（牛木会計担当理事）

(1) 平成24年度中間決算書について

資料に基づいて説明があった。

(2) その他

(3) 特になし

III. 審議事項

1. 新入会員の承認について

資料に基づいて説明があり、86名が承認された。このうち所属不明の学生会員に関してその所属を確認することにした。

2. 平成23年度決算および業務監査報告の件

資料に基づいて説明があり、黒字になることが確認された。

3. 解剖学振興基金の一般会計への統合と終身会費の扱いについて

資料に基づいて説明があり、今後は振興基金を廃止し、一般会計と一本化することが提案され、理事会に諮ることにした。終身会員に関する取り扱いに関して、その維持にかかる費用を算出した上で、今後そのあり方に関して検討していくことを決めた。

4. 平成24年度予算の件

資料に基づいて説明があった。予備費が120万円程度あること、振興基金からの繰り越しが153名分あること、ASIのシステムが変化したことによる支出減が140万円程度であること、賛助会員が数社減ったこと、が確認された。これを受けて過去5年間に退会した賛助会員数と、現状を報告して欲しいという要望が出された。

5. 平成24年度総会・学術評議員会資料および議事進行の確認

開会の辞のあとに前回第116回会頭の挨拶が挿入されること、副議長、書記として吉川雅英氏、原田彰宏氏が夫々推薦されること、議事録署名人として愛媛大学の松田正司氏、香川大学の荒木伸一氏が推薦されること、が確認された。また黙祷時に東日本大震災の被災者を追加することが決定された。一般社団法人移行に伴う学術評議員の取扱いに関する案の説明があり承認された。

6. 一般社団法人への移行と代議員選挙規程案・役員選出規約案について

資料に基づいて説明があり、会員からの質問等があった場合の対応について協議された。

7. 日本外科学会「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン」について

前回の常務理事会で宿題となっていた外科学会ガイドライン案に対する見解（高田、岡部案）が説明された。その上で別添資料に基づき、「日本外科学会と日本解剖学会」が対等な位置にあって作ったガイドラインではなく、外科学会が主体になって作ったものなので、その旨を明示的にすることが提案された。これを受けて、ガイドライン最終案には解剖学会の見解を注解として加えたものを提案すべきであるという結論となった。これを理事会、総会に諮ることにした。

8. 奨励賞選考委員会の人選について

資料に基づいて説明があり、委員長の人選案が提示された。

9. 脳科学関連学会連合（仮称）の設立および参加について

資料に基づいて説明があり、会費が3万円であること、各学会の会員数に応じて議決権に重みをつける予定であることが説明された。

10. その他

総会には記録、議事録、摘録の3種があるが名称は「議事録」で形式は「記録」に揃えて他は廃止することにした。また理事会の「議事録」、「記録」も同様の取り扱いをすることにした。

11. 次回以降の役員会予定

第3回常務理事会	平成24年 6月23日（土）13:00～15:00	東京大学医学部教育研究棟 2F 第1セミナー室
第4回常務理事会	平成24年 9月 8日（土）13:00～15:00	東京大学医学部教育研究棟13F 第5セミナー室
第5回常務理事会	平成24年12月15日（土）12:00～14:00	東京駅近郊の会議室
第3回理事会	平成24年12月15日（土）14:00～16:00	東京駅近郊の会議室